

第82回岡山県中央メーデーあいさつ 2011年5月1日 10時から 旭川河川敷
第82回岡山県中央メーデー実行委員長 花田雅行

東日本大震災で亡くなられた方にお悔やみと避難生活等被害にあわれた皆さんにお見舞いを申し上げます。亡くなられた皆さんに対して黙祷を行います。ご協力をお願いします。

(黙祷20秒) 黙祷終わり

地震と津波さらに原発で甚大な被害を受け、今なお将来への展望が見えない中で避難生活をしている皆さんへ思いを寄せながら、新たな闘う決意を胸に秘めて、今日のメーデーに参加された皆さん大変ご苦労様です。皆さん 今年のメーデーのスローガンには、東日本大震災からの復興・被災者支援を掲げています。大震災以降なにかできる事はないかと、職場や街頭での募金活動、支援物資を届けたり、搬送して現地に駆けつけた方、ボランティアで現地に行かれた方、そして自治体の職員で消防・水道、下水道、保健師、環境、事務など震災後直ちに大変厳しい状況のもとで現地に駆けつけた皆さんと各団体に心から敬意を表します。

皆さん 今後の支援は長期的になります。私たちの支援は、被災された皆さんの実情にあった、その苦難の解消につながる地道ではあるけれど大切な支援になります。少しずつでも継続的に知恵と力とお金を出し合い支援を継続していきましょう。私たちは全労連や民主団体で全国災対連共同支援センターを作り物資やボランティア派遣にとりくんでいます。各団体でも取り組まれています。合わせてこのセンターの活用もお願いします。

救援と復興に向け次の事を求めます。

1、全国からの支援を受けて必死に復興に向け立ち上がろうとしている被災地に政治が総力を挙げることを求めます。その際の必要な財源は購買力低下など復興に冷水を浴びせる消費税の引き上げではなく、法人税の引き下げの撤回、米軍への思いやり予算の廃止、政党助成金の廃止などただちにできる事を実行するように強く求めます。

皆さん、被災地の皆さんは「一からの出発、ゼロからのスタートです」とテレビのインタビューに答えています。大企業は今こそ使い道のない64兆円の内部留保を復興のために使い、ゼロからのスタートを支えてこそ社会的な責任を果たしたと言えます。被災地の復興支援、中小企業の経営の安定、労働者の雇用に大企業の役割を果たさせましょう。

2、皆さん連日「がんばろう日本」「日本は一つ」とACジャパンの精神訓話がマスコミから流れてきています、復興支援に力を合わせることは当然ですが、3月まで日本広報学会長は東電社長、ACジャパンの理事に東電役員が就任し巨額の出資がされています。これまで原発報道は、不安や疑問・問題点を指摘する声を圧殺して「安全神話」を振りまいてきたその、その苦い経験を繰り返さずに今後は様々な意見を出し合って議論する事を求めます。昨日の日経新聞では「新しい日本を築き上げていくチャンス」「そのためには経済の成長が欠かせない」「大事なことは挙国一致で取り組む事」と社説で呼びかけています。批判することを許さない世論作りに抗議すると共に、被災された住民の皆さんの立場に立った復興がされる事を求めます。

3、皆さん支援と共に私たちの町岡山を改めて見直す事が必要です、地震と液状化対策、津波対策はどのようになっているのでしょうか。岡山県の平成17年の津波浸水予測図では、マグニチュード8.6で岡山大学医学部あたりまで浸水すると予測しています。現在見直しが始まりましたが、各地域で現状や対策を見直す運動に幅広く取り組みましょう。

4、福島第1原子力発電所の人災事故の問題です。学校の新学期が始まった。保育園が

再開された。仮設住宅への入居が始まった等大変厳しい中でも子ども達の笑顔が見える様になる等少しずつ復興が始まりました。しかし、その展望が全く見えず、復興を妨害しているのが原発事故による放射能です。

皆さん福島県労連の事務局長は「学習の友5月号」で「人間らしく最後を迎える事さえ許さない原発事故に何重にも怒りを抑える事は出来ません」と訴えています。住民の安全第1の早期収束は言うまでも無く、老朽化している原発の即時停止、上関原発などの新設はしないで再生可能なエネルギー政策への転換を強く求めていきましょう。

先日「ミツバチの羽音と地球の回転」という映画を見ました。中国電力の職員が建設予定地の3.5km先にある祝島の原発建設反対住民に対して「海が壊れるようなことは絶対にありません。絶対といってもいいほど壊れません」「第1次産業だけでこの島が良くなるとお考えですか」と呼びかけていました。住民は「中電が絶対と言って、絶対の試しはないじゃないですか」と言っています。事故が起こる前の映像ですが、福島の事故が起こった後でこの映画を見ると「絶対に安全だ」と呼びかけ住民の声に耳をかさない中電、推進している政府に怒りがわいてきます。安全ではない原発の建設を阻止しましょう。また農業で暮らしていけない等、これまでの農業切り捨ての悪政を顧みず、1次産業切り捨ての企業の態度に怒りを覚えます。TPP参加反対を強く求めていきましょう。

そして皆さんメーデーの歴史は8時間労働を要求する労働時間短縮を求める闘いの歴史です。長時間労働を無くし、電力の浪費を無くす等企業社会に求めると共に私たちの暮らしも見つめ直して、労働時間の短縮を改めて求めていきましょう。

5、要求を自粛するのではなく、正面から堂々と声を上げていきましょう。今自粛ムードが蔓延していますが、必要以上に自粛する事は無いと思います。むしろ、復興に向けて、消費税・電力料金の引き上げや国家公務員の賃金1割引き下げなど国民への我慢の押しつけを強める方向で議論されていますから黙ってはいられません。

皆さん「安全神話」で国民をだまし続け、対策を取らずに推進し、その結果放射能がまき散らされても我慢する必要があるのでしょうか。福島原発で作業をしている作業員や消防職員、自衛隊は国民をだまし続けた政府・東京電力の尻ぬぐいをさせられています。さらに避難者への損害賠償の支払い財源に電気料金の値上げを検討する、しかし、決して大企業の内部留保には手をつけない政府。大企業は大もうけをしていて、労働者国民は賃金は上がり、下請け単価は引き下げ、非正規労働の増大を許しておいていいのでしょうか。「日本は一つ」と言うならその政策の見直しを一つになって求めましょう。災害の上にさらに農業を破壊するTPP参加を許しても良いのでしょうか。米軍機の低空飛行で家屋が壊されても我慢しないといけないのでしょうか。アメリカに対してきちっと物を言うために「がんばろう日本」では無いのでしょうか。

皆さん おかしいことはおかしい、私たちが掲げている要求課題を今こそ高く掲げて闘いましょう。この間派遣切りの労働者支援に一貫して取り組み、東備消防の高裁での勝利判決、有機溶剤による化学物質過敏症を労災と認定する逆転判決がありました。このことに確信を持って闘いましょう。地震・津波・原発の被害を受けたもとの今年の闘いは被災住民の立場に立ち、是までの悪政を転換するのか、それとも従来どおり大企業本位か日本の将来・私たちの将来に大きく影響するまさに岐路に立った闘いになります。復興支援と要求実現に全力をあげて闘いましょう。以上で第82回岡山県中央メーデーのあいさつとします。